

就活
体験記！

汗と涙と…苦悩から笑顔に至るまで
～12人の方の就職活動

Challenger Story 2013

広島新卒応援ハローワーク

はじめに

2008年の世界同時不況に端を発した金融危機により、学生を取り巻く雇用環境は、以前厳しい状況にあり、内定率は徐々に上昇しているものの、リーマンショック以前まで戻ってはいないところです。

広島県内の景気は持ち直しつつも先行き不透明であり、企業の採用方針は、“質”を重んじる厳選採用が続いていると言われています。

その“質”を判断するための基準として、社会人基礎力《前に踏み出す力（アクション）、考え抜く力（シンキング）、チームで働く力（チームワーク）》を重視する傾向が高まっていますが、加えて、就職への心構え、本気度も採用基準のひとつとしてクローズアップされるようになっていきます。

こうした傾向に対応するためには、みなさん自身の強みや大切にしている考えと、入社したい会社の理念や社風、具体的な仕事内容を結びつけたイメージをつくりあげることが何より重要です。

しかし、このようなことは頭では理解できても、いざ就職活動に取り組もうとすると、「自分は何がやりたいのか」、「自分に向いている仕事はどこにあるのか」、「就職活動のいったい何から始めたらいいのか」、「エントリー・セミナー・面接・・・どんな流れになっているのか」など、不安は募り、どのようにしたらよいのか悩み迷う学生の姿が見られます。

就職活動では、このように誰もが迷ったり、悩んだりしますが、自分自身を見つめ直し、将来どんな生活を送りたいか考える絶好の機会でもあります。

広島新卒応援ハローワークでは、みなさんの不安の解消と一日でも早く内定を獲得していただくため、一人ひとりに応じたサポートで、毎年、多くの学生の自信と希望に満ちた笑顔に接してきました。

そうした方々の就職活動におけるプロセスは決して平坦ではなく、みなさんの苦しい現状と共感できる部分が必ずあると思います。

この度、みなさんより一足早く社会人への切符を手に入れた方々の汗と涙と苦悩から笑顔に至るまでの、就職活動の実体験をレポートした「**Challenger Story 2013**」を作成しました。

厳しい雇用環境にあっても、企業文化や独自技術の継承者として、ほかの企業の風土に染まっていない人材である“新卒者”への期待はとても高いと言えます。どんな厳しさにも負けず前に進んでいけば、必ずや明るい未来が待ち受けていることでしょう。

この冊子が、みなさんの就職活動にとって、希望の道標となれば幸いです。

平成25年5月

広島新卒応援ハローワーク 室長

12人のチャレンジャーからの熱いメッセージ！（目次）

CASE 1 Nさんから 人に振り回されるな	P.3～P.4
CASE 2 Kさんから 自信	P.5～P.6
CASE 3 Sさんから 入念に準備すること	P.7～P.8
CASE 4 Aさんから 準備を怠らないでください	P.9～P.10
CASE 5 Tさんから 自分を理解し活かす	P.11～P.12
CASE 6 Oさんから ここと決めたら、自分を売り込む！	P.13～P.14
CASE 7 Mさんから あせらず自分とじっくり向き合うこと そして自分が成長できるチャンスだと思って楽しむこと！	P.15～P.16
CASE 8 Gさんから 早めの準備	P.17～P.18
CASE 9 Yさんから 要領よく	P.19～P.20
CASE 10 Nさんから 自己分析＝就職成功！	P.21～P.22
CASE 11 Mさんから 試行錯誤	P.23～P.24
CASE 12 Kさんから 諦めずに粘り強く取り組むこと	P.25～P.26

*掲載文中の「学生センター」は平成24年3月までの「新卒応援ハローワーク」の旧称です。

CASE 1 Nさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《 人に振り回されるな 》

◆ 本人データ

Nさん (男性・女性)

システム学研究科 システム工学専攻

Nさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・ エントリー数

約 60 社

・ 説明会参加数

約 15 社

・ WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 10 社

・ 選考に進んだ会社

約 7 社

・ OB、OG訪問人数

0 人

・ 内定先(業界又は業種・職種)

公務員

1年生

6月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

大学で行われる就職ガイダンスで、就職サイトへの登録のハガキが配られた時、「本格的に始まるんだな」と、意識が高まった。

6月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

パソコンが得意な友人に、いろいろな機能を聞き、就職活動がスムーズに行えるようになった。

2年生

4月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

数社受けることで、面接のコツを掴むことができる。

8月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

志半ばにし折れてしまったが、もう一度頑張って、自分が納得する終着点を掴むことができた！！

相談担当者コメント

毎日のように新卒応援ハローワークへ通い、些細なことでもきっちりとメモを取り対応を続けてきたNさん。当初は応募先の多くが人気企業であったため、内定を得ることができず、辛い時期もありましたが、そこはNさんの最大の魅力、強みとも言える「誰にも負けない真面目さ」と「人に振り回されない信念」があったからこそ、内定を勝ち取ることができたと思います。「自分は自分、人は人」。等身大の自分を出せたことが、公務員試験に合格できた秘訣ではないでしょうか。これから行政マンとして私達も期待しています。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

図図しいことが大切。
疑問に思ったことがあれば、遠慮なく企業に電話して聞き、説明会では、周りの人を気にせず、自分のやりやすい雰囲気を作り出す。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自分紹介するもので最初の関門。
私はこのセンターを利用して、内容がすごくよくなりました。
なぜ、自分がそこに入りたいか、幼い時から考えてみて、些細なことでもよいのでそれを切り口とし書いていく。公務員、一般企業でもこのことが重要。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自分の考えを伝えれば大丈夫。
人の発言を聞き、自分の考えを言うことも重要。
数社受け、自分の答えに対しての相手の切り返しなどの相手の反応を見る。
面接の極意、対応のしかたは、現場にある。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

公務員対策は、本屋さんで筆記テスト対策の本を買い、そればかり勉強をしていました。
面接対策は筆記テストが合格した後、行った。筆記テストが合格しないと、面接をやらしてもらえないので、引き籠って勉強をし、問題の大半が自治問題なので、日ごろから新聞を読んでください。
また、大学院生ということから、学生センターへ行く時間がなくなったりしたので、1社について学生センターで相談し、その後はその1社について聞いたことを応用してやり、時間のやりくりをした。そのほうがやりやすかった。
自分なりの就職活動を見つけることが重要だと感じた。

CASE2 Kさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで!

《 自信 》

◆ 本人データ

Kさん (男性・女性)
総合ビジネス学科

Kさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・エントリー数

約 **8 社**

・説明会参加数

約 **7 社**

・WEB、適性検査・
エントリーシート・履歴書提出

約 **5 社**

・選考に進んだ会社

約 **5 社**

・OB、OG訪問人数

0 人

・内定先(業界又は業種・職種)

流通業

1年生

3月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

学校からの働きかけや両親のアドバイスで、そろそろ時期と思ってました。

2年生

4月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

定住者であり職業選択肢はあるとしても、自分が中国出身で不安でした。日本語資格を取るようアドバイスを受けて取得しました。

4月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

自分自身の強みを、自信を持って話をする事、個性が大切です。(自己分析)

6月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

面接をする時の雰囲気も良く、質問にも的確に答えていたと思います。自信をもって受けることが出来たので意外ではなかった。

相談担当者コメント

Kさんは学校内でハローワークが3月に行ったセミナーをきっかけに登録いただきました。中国のご出身ということで言葉の面での壁もありましたが、なぜ面接を行うのか主旨を十分理解され、自身を振り返って強みを整理することで、面接選考に対しても自信が付き、同時に業界・企業研究も熱心に深く掘り下げ、自身の働くイメージを描くことで熱い思いを伝えらるることにつながったようです。セミナーでは求人票の見方のアドバイスにより、自身の働くイメージが描けるようになったと感想を述べられています。就職活動で大事なことやアドバイスを的確に理解し継続して実行されたことが結果に結びついたと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自分が「未来の働く姿」が想像できる企業を選択することが大事だと思います。十分な自己分析と企業研究をすることで、応募する企業での働くイメージが湧くことにつながります。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

真剣に書くことと自分の個性的なところを記入することが大切です。自己分析をしっかり行って自分のアピールするポイントを書き出してみる。書くことで思い出す。忘れかけていたことも思い出すことが出来たように思う。何故応募したのか、志望動機は自分自身の個性的なところが活かせる職務内容と感じた点を強調すること。あがってしまうのも個性のうちかもしれません。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自分をアピールできるチャンスを狙い、積極的に話しかけることが重要です。自分の熱い思いなど伝えていきたい事を事前に準備をしておけば、面接の内容に沿った話ができると思います。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

就活を早めにするほうがいいです。失敗を経験したことは成功につながるからです。もし結果が出なかった場合、何故なのか振り返ってその原因を分析し、次につなげる努力は必要なことだと思います。

CASE3 Sさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《 入念に準備すること 》

◆ 本人データ

Sさん (男性・女性)
法学部 法学科

Sさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

- ・ エントリー数
約 100 社
- ・ 説明会参加数
約 35 社
- ・ WEB、適性検査・
エントリーシート・履歴書提出
約 37 社
- ・ 選考に進んだ会社
約 25 社
- ・ OB、OG訪問人数
2 人
- ・ 内定先(業界又は業種・職種)
損害保険会社

3年生

8月

- ◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

損害保険会社のインターンシップに参加し、損保の仕事内容について初めて知りました。大学の先輩に就活の経験談を聞き、漠然と就活に対して意識するようになりました。

12月

- ◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

学内セミナーや合同企業説明会に積極的に参加しました。何をすれば良いのか具体的に分からず、何もかも中途半端に…。この時期は時間があるのでSPIに打ち込んでいればよかったと後悔しています。志望度の高い企業の筆記の種類を調べて対策することを勧めます。

4年生

4月

- ◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

選考が続いて、企業研究が浅いまま面接に挑み惨敗しました。面接を振り返るのが嫌で何が悪かったのか中々気づけませんでした。面接が終わったら即、何を聞かれ、どう答えたのか全部メモに書き出して振り返って下さい。

5月

- ◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

周りの友人の多くが内定をもらっていて焦っていましたが、気持ちを落ち着かせて外資の損害保険会社の面接を受け、内定をもらいました。4月末に生保の内定をもらっていて、最初どちらにするか悩んでいましたが、担当の方にアドバイスをいただき迷いが消えました。

相談担当者コメント

学生時代にテレビ局で電話対応のアルバイト経験があり、保険会社への就職を希望していたSさん。大学で就活サークルに所属し先輩からの書類添削や面接練習を重ね努力家であるとうかがえました。しかし、結果が出ず新卒応援ハローワークへの相談となりました。当初、表情の明るさ、元気の良さは充分足りるものでしたが、「何故、損害保険会社」「自分の強みの裏付けは」「会社でどんなことがしたい」等、具体的な返答は脆弱なものでした。その後、個別相談では熱心にメモを取り、今までの方法は学生目線で会社目線の対策ではないと気づき、過去の面接での失敗を正面から総括し課題、弱点の対策に取り組みられました。約4ヶ月後に生命保険会社1社と損害保険会社1社から内定をいただき、アルバイト経験が活かせる希望の企業に就職されました。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

私は損害保険会社に入社したいと思っていましたが、選考は損保以外に生保・建設・通信・教育など全く違う業種を受けていました。去年から就活は12月始まりになり、今までと違って2ヶ月遅く始まる分選考が重なるので、受ける業界は12月までに決めておいた方がいいです。説明会の段階では様々な業界の会社に行って選択肢を増やした方がいいと思います。説明会は単に話を聞くのではなく、志望動機を見つけるつもりで臨んで下さい。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

就活が本格化する12月までに、400字・800字の自己PRと学生時代に頑張ったことを書いて準備しておくことを勧めます。書いたものは社会人の方に添削してもらって下さい。エントリーシートの提出時期は重なるので、私は事前に準備をされていて時間を節約できました。ESが中々通過できないという人は、志望動機が会社の説明(褒め言葉)になっている人が多いです。ES＝自分をアピールするものだ、ということをお忘れ下さい。私は「自分の強みは○○なので○○を□□部署で具体的に～して活かしたい」と書きました。また、将来の目標・志望したきっかけ・その業界じゃなくてはダメな理由・その会社じゃなくてはダメな理由(同業他社との比較)・具体的にしたい仕事を意識して書きました。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

集団面接・・・ 他の学生の話もうなずきながら聞く。聞く態度も見られています。
個人面接・・・ 志望動機や自己PRを全部暗記すると機械的に聞こえます。要点(ここだけは絶対に伝えたい)だけ覚えて下さい。私は笑顔が大事なのは知っていたんですが、面接当初、顔がこわばってしまったので、普段から笑顔で会話するようにした方がいいです。就活中盤からは面接で笑顔が素敵と言われるようになりました。事前に企業の過去の新聞記事・HPのプレスリリースを読んでおき、逆質問や変わった質問では調べたことを話に入れるようにしました。企業によって求める人物像は違うので、説明会やHPで把握し、その人物像に近い自己PRをした方がいいです。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

担当の方に3、4月何度も面接練習をしていただきました。私は大学で就活サークルに所属し先輩からも面接のアドバイスをもらっていたんですが、学生目線と社会人目線は全く違うということを実感しました。学生よりもハローワークの方に面接・ESのアドバイスをいただけて下さい。私が内定を得る事ができたのは、ハローワークの方に何度もアドバイスをいただいたからです。ありがとうございました。

CASE4 Aさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《準備を怠らないでください》

◆ 本人データ

Aさん (男性・女性)
商学部 経営学科

Aさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

- ・ エントリー数
約 **80 社**
- ・ 説明会参加数
約 **20 社**
- ・ WEB、適性検査・
エントリーシート・履歴書提出
約 **12 社**
- ・ 選考に進んだ会社
約 **12 社**
- ・ OB、OG訪問人数
0 人
- ・ 内定先(業界又は業種・職種)
営業職

3年生

5月

- ◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

大学の就職セミナーで就職活動の厳しさを知ったときです。

12月

- ◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

自己分析を始め、大学の企業説明会やリクナビなど合同説明会に参加し始めました。なかなか自己分析がはかどらないため履歴書やエントリーシートを書く際に内容をうまくまとめることが出来ず苦労しました。

2月

- ◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

準備を十分に行うことです。就職活動で忙しい中でも、説明会で得た情報の整理や、学生センター、大学の就職課に相談するなど準備を怠らないことです。

4年生

7月

- ◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

就職活動を始めたときの第一志望の会社ではないのですが、就職活動を続ける中で様々な企業を知り、その中で一番入社したいと思う会社に内定を頂く事が出来、とても嬉しかったです。

相談担当者コメント

「3年時の12月より本格的な就活を開始し、営業職を中心に数十社応募したがなかなか結果に繋がらない、何が問題でどのように改善すれば良いのか」との相談で来所されました。面談を通じ、対人スキルや協調性等の基礎的能力は充分有されているが、志望動機のベースとなる営業職に活かせる自分の強みが不明瞭、ということが確認されました。このため、個別相談を活用し、自己分析による自己の強みの再確認と、確認された自己の強みを口に出して説明する、面接練習を重点的に行いました。同時に、営業職の役割と求められる能力、及び、応募する会社の業務内容についても徹底して研究されその後の選考に臨まれました。何故この会社、何故この仕事、自分が取り組みたい仕事等の志望動機を明確にされたことが自信になり、延いてはその自信が思い／熱意に繋がったことが、内定という結果に結びついたと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

企業のおおまかな情報ではなく、説明会では入社後どのような仕事をするのかなど将来をイメージできる情報を手に入れるよう努めることをお勧めします。そのために事前に知りたい情報をまとめて、説明会で質問することもあります。そうした中で企業について深く知ることが出来、企業選択ができると感じました。あと社会人の方々に相談することも大切です。社会人の方々に相談に乗って頂く中で、業界や業種について説明会では知らなかった情報を知ることができました。そうした経験も企業選択で大変役立ちました。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

早めに学生センターの方など社会人の方に履歴書やエントリーシートを添削して頂くことです。失敗談として、友達と相談しながら履歴書を作成したのですが、社会人の方に紙が真っ赤になるほど直されたことがあります。自身が大事とする点と社会人の方が重視する点が違うことに気づかされました。それから何度も添削して頂く中で、やっと納得のできる履歴書やエントリーシートを作成することができました。履歴書やエントリーシートは一朝一夕で作成できないと思うので、早めに意識して作成することをお勧めします。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

第三者に見てもらいながら、面接練習することが大切です。口下手な人は特に必要だと思います。私は口下手なので面接で上手く話すことができず、面接で落ち続けていました。しかし、何度も学生センターの方に面接練習をして頂く中で、だんだん自分の伝えたいことを言葉に出来るようになりました。グループディスカッションについても練習が大事です。グループディスカッションは司会や書記など役割があると思いますが、全部の役割を一度でも経験しておく、本番の時にどの役割を任せられた時も落ち着いてこなすことが出来ると思います。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

内定を頂く事が出来たのは学生センターの方々のお陰だと思っております。就職活動を続けるけれど、5月になっても選考が思う様に進まず悩んでいた時に、初めて学生センターに伺いました。それから文章添削や面接練習を通じて、自身の出来ていない点を直すことが出来、成長することが出来ました。その経験があったからこそ、それ以降の面接で伝えたい事を言葉にすることが出来、内定を頂く事が出来たと思います。本当にありがとうございました。

CASE5 Tさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《自分を理解し活かす》

◆ 本人データ

Tさん (男性・女性)

家政学部 生活デザイン学科

Tさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・ エントリー数

約 30 社

・ 説明会参加数

約 15 社

・ WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 10 社

・ 選考に進んだ会社

約 10 社

・ OB、OG訪問人数

0 人

・ 内定先(業界又は業種・職種)

事務職

3年生

12月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

大学で行われるセミナーに参加して本格的にエントリーの仕方などを教わったこと。

3月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期
(ご苦労やご不安をお書きください)

とりあえずエントリーしてみたが、全くピンとこない企業ばかりでやる気が出ずにしばらく活動しなかった。周りの友達は春休みに沢山受けていて焦った。2~3社説明会、1次に参加。

6月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

とにかく自己分析をしっかりとしなければ始まらないと考え、ハローワークに通って担当の方に自分の良さを引き出してもらった。とにかく自分らしさを具体的に伝えた。あと笑顔と愛嬌も大切。

4年生

12月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

一生懸命やったら報われるんだと感動した。就活もよい経験になったと思えた。

相談担当者コメント

Tさんは、ノートいっぱいに学生時代のエピソードを書き出しされていました。さまざまな経験は、自分では評価・客観視が難しいものです。まずは企業側の求める人材、ニーズの理解を促し、そのうえで自己PRを見直し、アピールポイントを整理していきました。物事を成す過程で経験した苦労、工夫した点、得たことを具体的にわかりやすく伝えるように改善していきました。それにより、Tさんの“何でも身につけようとする真面目な姿勢”と“素直さ”が企業側に「伸び幅」を感じさせ、結果に繋がったのだと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自分が何をしたいのかわからず悩んだ。そこで自分が今までの人生で何を大切に考えて生きてきたのかということを書きだしたり、高校や中学の時の先生に連絡を取って自分の印象を聞くなどして客観的にみるようにしました。説明会は雰囲気を感じ取るのに絶対行くべき。特に会社説明会。その会社でいいなと思うポイントをメモするとあとで使える。資料にのっているようなことはメモしない(ムダ)。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自己PRにもものすごく悩んだ。具体的な簡潔な文章を限られたスペースにちょうどよく書くのが非常に難しかった。キャリアの人にもすごくダメ出しを受けた。人に読んでもらってわかりやすい文章にしないといけないと思う。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

グループディスカッションでは何か役割についての方が有利だと考えたが、焦ってしまうので何もしない方が逆に良かった(発表・進行は他の人に任せる)。各面接ではとにかく自信を持って、はきはきと笑顔で答えた。感じの良さを重視した。緊張は絶対するので多少言いたい事がわからなくなるかもしれないが、落ち着いて自分らしさをアピールできればよいと思う。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

ハローワークの方は本当に親身になって話を聞いてくださったし、合う企業を紹介して下さろうとしてくれて嬉しかった。学校のキャリアセンターと合わせて活用すれば視野が広がると思う。

CASE6 Oさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《ここに決めたら、自分を売り込む！》

◆ 本人データ

Oさん (男性・女性)
文学部 日本文学科

Oさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・ エントリー数

約 **44 社**

・ 説明会参加数

約 **16 社**

・ WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 **26 社**

・ 選考に進んだ会社

約 **9 社**

・ OB、OG訪問人数

0 人

・ 内定先(業界又は業種・職種)

広告・出版

3年生

6月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

履歴書に書くことのできる資格を増やそうと思い、秘書検定2級を取得した。

12月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期
(ご苦労やご不安をお書きください)

何も就活についての基本知識がないまま、“ハイ、スタート！”という状態だったので、とりあえず、合説や学校等のセミナーに参加し、手さぐりで、方法をつかんでいった。

1月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

ESや履歴書は、ちゃんと第三者に確認してもらって、面接は慣れなので、色々な人に練習してもらって、本番に臨んだ方が良かった。

4年生

4月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

選考が2回だったため、周りより早く決まった方だった。第一希望の会社であり、自分でも全力をつくした就活だったので、今思えば、途中は辛かったけど充実した就活であったと思う。

相談担当者コメント

Oさんが来所されたのは、既に応募された広告会社の面接練習がきっかけでした。面接練習を行ってみると、応募のきっかけ、又、何故宣伝業界、何故制作業務の仕事等の志望理由に自分の専門性や強みが反映されておらず、特徴のない一般的な説明内容ということが確認されました。このため、短時間で集中的にゼミ研究、部活を題材にした「自分は何がしたいのか、自分は何ができるのか、自分の強みは」の自分探しを繰り返し繰り返し行いました。この結果、当初の自分の強みであった「継続する力」に加え、希望の制作の仕事に活かせる「構想力」「創作力」「制作意図を理解する力」等の仕事に活かせる自分の力を確認することが出来ました。これらの「自分の強み」を前面に打ち出し面接に臨まれた結果、希望の制作会社から内定を得られました。時間的にも内容的にも大変でしたが、地道が近道の通り、自己分析をしっかり行ったことが内定という結果につながったと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自分の気になる業界・企業、時には興味のない業界の話も積極的に聞くことで、就活の幅を広げることができます。その企業がどんな人材を求めているか、どんな仕事ができるのか、等、この後の選考で役に立つことを聞いておくと良いと思います。又、実際にその企業で働くということを考えて、福利厚生もしっかりチェックしていたら良いと思います。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

履歴書、ESは途中で間違えた時の為に2, 3枚は予備をコピーしておくが良いです。また、面接前に見直せるように完成したのもコピーして保管していた方が良いです。内容としては、簡潔に、まずその質問の答えとしてのゴールを出し、そこに向かうプロセスをいくつか付け加えていくことで、ちゃんと筋の通ったものになると思います。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

私は、最初の集団面接もグループディスカッションも緊張すぎて全力を発揮できませんでした。しかし、これは慣れだと思えます。ハローワーク等で想定された質問に対する答えを考え、自分のものにして、何度も練習をすれば大丈夫です。企業役はずっと同じ人ではなく、周りの色々な人に頼んでやってもらいましょう。あとリラックスをする為のツボ等を自分なりに持っているとならぬに力になります。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

自分だけでは、上手く言葉にできなかった、企業への想いや自分の力等を一緒にとことん考えて、導き出して下さり、大変力になってもらいました。最終面接前には毎日のように練習に付き合ってもらって下さり、内定を頂いたのも、この日々を共に頑張ってもらった担当の方のおかげだと思っています。自分がやる気を出せば、親身になって受け取め、力になってくれる場所だと思っています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

CASE7 Mさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《あせらず自分とじっくり向き合うこと そして自分が成長できるチャンスだと思って楽しむこと！》

◆ 本人データ

Mさん (男性・女性)
生活科部 食物栄養科

Mさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

- ・ エントリー数
約 **70 社**
- ・ 説明会参加数
約 **30 社**
- ・ WEB、適性検査・
エントリーシート・履歴書提出
約 **16 社**
- ・ 選考に進んだ会社
約 **6 社**
- ・ OB、OG訪問人数
0 人
- ・ 内定先(業界又は業種・職種)

食品・品質管理

3年生

4月

- ◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

大学で就活のセミナーが始まったことが、就職活動を意識し始めたきっかけでした。

11月

- ◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

就職活動に関する情報を1つも見逃したくないと思い、とにかく手当たり次第に就職サイトに登録したり、合同説明会に参加していました。合同説明会に行けなかったときには、参加した友人に、どうだったか聞いて情報交換をしていました。

2月

- ◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

同じ事を言っても、通る会社と落ちる会社があるので、たとえダメだったとしても、ある程度割り切って自信を失いすぎないことが大切だと思います。そして1人で悩みすぎず、できるだけたくさんの人とかかわって、話をすることが大切だと思います。

4年生

8月

- ◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

自分を必要としてくれる会社があったことにほっとし、本当に嬉しかったです。内定を頂いた会社は、自分の望んでいた業界と職種で、社員の方も良い方ばかりだったので納得のいく就職活動をすることができまし

相談担当者コメント

Mさんは、大学で学んだ食品に関する知識を活かし、地元広島の実業会社で品質管理の業務に是非携わりたいという明確な希望を持っておられ、応募予定の実業会社に提出する「自己紹介書」の添削と面接練習希望で来所されました。持参された素案の「自己紹介書」は、全項目に亘り、「私はこんな人間」、「私はこんなことがしたい人間」等のメッセージがしっかりと折り込まれ、内容的にも文章的にも素晴らしいものでしたが、一番の「キモ」である、何故品質管理の業務なのか、又、自分がどう活躍でき、どう活躍したいのかの志望動機が今一つ不明確でした。この為、個別相談を通じ、何故この会社、何故この仕事、発揮できる力について、何故を繰り返しながらの深掘りにより「芯」の確認を行われ、その結果、企業に伝えたい自分の思いや自分の強みを自分の言葉で明確に説明出来るようになられました。自分の強みを活かしながら自分が活躍している姿をしっかりとイメージできたことが、希望の会社の内定に結び着いたものと思います。入社後も、問題の本質を追究する姿勢を如何なく発揮し活躍されることを祈念しています。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

少しでも気になった会社があったら、とりあえずプレエントリーや説明会に参加したほうが良いと思います。プレエントリーをしておくことで、いろいろな情報がメールで送られてくるし、説明会に実際行ってみると、その会社の雰囲気を感じることができます。企業を選択し、絞ることは後でいくらでもできるので、最初は幅広くいろいろな会社を見て下さい。（思ってもいなかった業界や職種で自分にぴったりのものが見つかるかもしれませんから！）

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

履歴書で必ずと言っていいほど書かされる自己アピールや学生時代にがんばったことは、できるだけ早くつくり、何度も何度も見直し、練り直しをするべきだと思います。そうすることで、より内容の濃いものになると思うし、頭の中でしっかり整理されて覚えることができるので面接でも自信をもって言えるようになると思います。また、他人に見てもらい、意見を言ってもらうことも大切です。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

面接では「笑顔で、礼儀正しく、長々話さないこと」を心がけていました。集団面接で他の人の話を聞いていてすごいと思うことはありましたが、人は人、自分は自分というように他人と比べないようにしていました。ただ良い所はまねさせてもらい、悪い所は自分にはしないようにしようと気をつけるなど、他の人から学ぶようにしていました。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

私は県外の大学に通っており、Uターン就職を希望していたのですが、大学ではなかなか地元の情報が得られず苦労していました。しかし、ハローワークを利用し始めてから広島の情報を得ることができるようになり、また広島企業のことや企業の面接の事、会社に求められる力など就職のために必要な知識を豊富にもっておられるハローワークの方々に出会い、指導していただいた結果、納得のいく就職活動をすることができました。本当にありがとうございました。

CASE8 Gさんの場合

内定の秘訣を一言コメントで！

《早めの準備》

◆ 本人データ

Gさん (男性・女性)

工学部 工学科

Gさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・ エントリー数

約 10 社

・ 説明会参加数

約 4 社

・ WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 4 社

・ 選考に進んだ会社

約 3 社

・ OB、OG訪問人数

0 人

・ 内定先(業界又は業種・職種)

自動車付属品設計

3年生

4月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

学内で行われた就職ガイダンスとリクナビを受けたことがきっかけです。

6月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期
(ご苦労やご不安をお書きください)

学内の合同説明会に参加。

8月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

本命の企業に合わせて面接の準備を早めにするといいです。働くイメージを湧かせて、面接では明るくハキハキと受け答えをする。

4年生

9月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

何度か会社に行ったが、その度にその会社で働きたいと感じるような会社だったので、内々定をもらった時はすごくうれしかった。

相談担当者コメント

ひたむきに、何事にも一生懸命に、健全な就職意欲を持続し、3社内々定を実現したと思います。相談では日本語についても、字は正しく、似たような字は書かないよう助言。面接練習では明るくハキハキ、事業所研究は、企業を訪問しできるだけ生の声を聞く努力を惜しまず、自身が応募する事業所での働くイメージを描いてシュミレーションした効果が出たと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

私は、自分がどの業界・業種に興味があるのか、ないのか、全く分かりませんでした。そこで私は、就職サイトが主催する合同説明会で、業界・業種を絞らず企業説明を聞いて回りました。こうすることで、自分の興味があるのかないのかを取捨選択していくことができました。そして最終的には、自分にとってやりがいのある業界だと確信していた金属加工業界に焦点をあてて就職活動をしていきました。合同説明会にはできるだけ参加した方が良いと思います。本年、会社は外国人を採用するかどうかを見極めるようにし、応募しました。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

志望動機では、自分が学生時代に力を注いで習得したことをどう会社で活かし、将来どうなりたいかまで一貫した内容で書くとよいと思います。
書き終わった後は、大学の就職課やハローワークの方など第三者にチェックしてもらい、何度も書き直してください。提出書類は記入漏れや写真の貼り忘れなどの不備がないかチェックし、締め切りに余裕を持って提出してください。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

- ・面接する前に先生と練習すること
- ・面接中はいつも大きな声で笑顔を忘れずに！
- ・最後に何か質問はありますかと聞かれたら、必ず質問してください。
（今後の事業展開について聞くなど、事前に考えて、二つは用意しておくこと）

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

・面接練習・履歴書添削等、お世話になりました。
・就職課やハローワークでは就職活動について話を聞くことが出来たり、個人的な相談にも乗ってもらえたりしたので、とても利用し易かったです。特に面接の前に毎日、面接練習をして頂きました。
今回のこの内定は、就職課やハローワークの方々の協力がなかったら、あり得ない事だと思っています。本当にありがとうございます。

CASE9 Yさんの場合

内定の秘訣を一言コメントで！

《要領よく》

◆ 本人データ

Yさん (男性・女性)
商学部 商学科

Yさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・エントリー数

約 3 社

・説明会参加数

約 3 社

・WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 2 社

・選考に進んだ会社

約 2 社

・OB、OG訪問人数

・内定先(業界又は業種・職種)

協同組合 営業

3年生

4月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

役場の臨時職員として働いた事で公務員を意識しはじめました。

4年生

9月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

何が自分に合った仕事なのか常に考えていました。

10月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

これは無理かもと考えるより、自分には何ができるかを考えた方が良い。

12月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

嬉しさの半面、これからが不安でした。

相談担当者コメント

12月に初めて来所され、添削・面接練習を集中的に利用されました。質問に対しての答えが話しているうちにずれること、話し方が平坦なことから話すネタがあっても熱意が伝わりにくいと感じ、本当にがんばったこと、その時に考えた思いを具体的に表現するよう助言しました。次の日には、指摘したことをきっちり直されていました。

来所は数回でしたが、素直な姿勢と感知力で、すぐアドバイスの意図をくみ取られ、熱心に取り組まれた姿勢が採用につながったと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

私は公務員志望でしたが、今もあきらめていません。しかしただ勉強するだけではなくて、社会人として働いてみるのもよい経験になると考えました。あまり難しく考えず、いろんな説明会に行ってみれば良いと思います。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

ハローワークや学校のキャリア支援の人たち、とにかく多くの人に見てもらって意見をもらった方が良いです。自分が書いたものは何度見返しても欠点が見つかりにくいものだと思います。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

自分も苦手なのであまりアドバイスできる事はありませんが…
緊張したり顔が赤くなったり言葉が詰まったりしても大丈夫です。面接官は人柄やその人が入社して何がしたいのか聞きたいだけなので焦らずゆっくり言えば大丈夫です。私も手も足もガクガク、ブルブルでした。
面接の時、もしかしたら無駄に大きい声だったかもしれませんが、アピールポイントはしっかりおさえました。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

履歴書の書き方、面接の対応を1から丁寧に教えて頂きました。
自分は文章力も話すときも下手くそでしたが、それは全て改善されたとは思いませんが、自信をつける事ができました。本当にありがとうございました。

CASE 10 Nさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《自己分析＝就職成功！》

◆ 本人データ

Nさん (男性・女性)

秘書学科

Nさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・ エントリー数

約 20 社

・ 説明会参加数

約 20 社

・ WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 7 社

・ 選考に進んだ会社

約 3 社

・ OB、OG訪問人数

約 0 人

・ 内定先(業界又は業種・職種)

営業事務

1年生

6月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

学内で行われた就職ガイダンスで、就職活動をされた先輩の話聞き、意識し始めました。

12月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

説明会へ予約しようとしても、人気のある企業はすぐに締め切られてしまうので、細かくサイトをチェックした方がいいと思います。就職サイトで企業が紹介している概要はわずかなので、企業が独自でHPを作成しているのなら、そちらもチェックした方がいいと思います。

2年生

5月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

私は人より遅く就職活動をはじめたので、あの企業を受けていれば良かったと後悔する事が多かったです。少しでも興味・関心があれば積極的に説明会や選考へ足を運んだ方がいいと思います。

8月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

内定の電話をいただいた時は、他の企業の説明会へ参加していたので、就職活動がこれで終わったんだと思うと嬉しくてたまりませんでした。今までの苦労が一気に吹き飛びました。

相談担当者コメント

事務職希望のNさんは、ハローワーク主催の合同面接会の求人に応募を希望されましたが、応募先企業に提出する自己紹介書の内容が不安だ、ということで相談に来所されました。当初は「好きな科目はXX、YYのクラブ活動に一生懸命頑張った」という活動の中で本人の持っている良さが伝えきれていない内容でした。この為、個別相談で自己紹介書の目的の「自己紹介書は自己を売り込む為のツール、従って、そこには、私は何が出来る、何がしたい等のメッセージを折り込むことが必要」という事を確認し、何を伝えるのか、伝えたいのかを話し合いをしながら掘り下げて行きました。その結果、勉強、部活、趣味などを通して身に付けた、希望の事務職に活かせる自分の強みをしっかり折り込むことが出来ました。事業所に知って貰いたいことをしっかり整理し、自己紹介書に折り込まれたことが内定という結果に繋がったと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

説明会には積極的に参加するべきだと思います。説明会に参加しないと選考に進めない企業もたくさんあります。また、説明会で聞いたことは、面接の時に話すことができるので有利です。私は短大生で、就職活動に対する意識が低く、説明会などで質問したりできませんでした。4大生の人達はどんどん質問しアピールしていたので、もっと企業研究をしておけばよかったと思いました。そこが反省点です。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

エントリーシートは面接と同じで、自分をアピールするチャンスです。履歴書も同じです。自分のアピールポイントを限られた枠の中で書くのは大変なことです。何を一番伝えたいのかよく考えて書く必要があると思います。選考に進むのに履歴書を提出しただけで落とされたこともありました。提出する前にコピーをとっておき、何がいけなかったのか原因を探り、次に提出する時は改善し出すようにしました。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

私は、個人面接しか受けていないのですが、初めて面接を受けた時は、とにかく緊張して自分でも何を言っているのかわかりませんでした。志望動機や自己PRを丸暗記していたのですが、頭の中が真っ白で沈黙してしまいました。面接の練習は絶対にするべきです。もし第一志望の企業があり、受けるのであれば、他の企業で面接を受け、空気に慣れておくのがいいかもしれません。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

新卒応援ハローワークでは、学内に来ている求人と別の求人がたくさんあるので、選択肢が広がります。また、私を担当して下さった方は、悩みや相談を親身になって聞いてくださり、利用するごとに就職活動、頑張ろう！と前向きな気持ちになれました。履歴書の添削もしていただき自信になりました。新卒応援ハローワークを利用して本当に良かったです！！

CASE11 Mさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《試行錯誤》

◆ 本人データ

Mさん (男性・女性)

総合政策学部 総合政策学科

Mさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・ エントリー数

約 60 社

・ 説明会参加数

約 30 社

・ WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 20 社

・ 選考に進んだ会社

約 7 社

・ OB、OG訪問人数

約 0 人

・ 内定先(業界又は業種・職種)

医薬品 営業

3年生

9月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

大学が開催するガイダンスや業種別研究会などに参加していました。

11月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期
(ご苦労やご不安をお書きください)

この時期は、まだ、合同説明会や大企業のESがポチポチ始まる時期です。なので、この期間中に先輩や大学の就職課、ハローワークや本などで「就活」というものを掴むといいと思います。

2月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

大企業のES提出と、中小企業の面接ラッシュが重なる時期です。この時期に面接や履歴書で使うエピソードや自分の強味などを確立しておく、その後の選考が楽になると思います。

5年生

7月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

4年生の頃は、大企業ばかりに応募していたり、根拠のない楽観視をしていたせいで、不出来な結果となりました。ですので、2回目の就職活動では真剣に取り組み、なんとか内定をいただきました。

相談担当者コメント

「大学4年時には、約30社の総合職・営業職に応募したが、準備、取組不足のため一社の内定も得られなかった。この反省から、「しっかり準備を行い、再度、新卒として就活に臨むため留年する」という大きな決断をされました。当ハローワークには、事業所に、発揮できる自己の強み、取組みたい仕事等の志望理由等がしっかり伝わるように自己紹介書を強化したい、という相談で来所されました。自己紹介書は自分をPRするための書類なので、各項目には、自分の人となりや能力等の希望職に繋がるメッセージを織り込むことがポイントということを再認識され、個別相談を通して、営業職の役割、営業職に求められる力、又、自己の強みの明確化に取り組みました。その結果、応募書類の各項目に、何を伝えたいかの訴求ポイントがしっかり書き込まれ、又、面接にも自信を持って臨まれました。前年の取り組みを総括され、自己分析と面接練習をしっかりと行ったことが内定に繋がったと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

ひとまず、自分の気になる業界・業種・職種をいくつか選んでみてください。そして、本やガイダンス、就職サイトで、それらがどのような仕事なのかを知ってください。また、それらの仕事をする企業がどのようなものなのかということも、大中小企業とこだわらずに調べてみてください。そして、その中から気になる企業を決め、説明会に参加してください。説明会では、理念や事業内容、業績、社員さんの雰囲気など、重要だと思う点をメモしてください。なかなか就職したい企業が見つからない場合は、業界研究からやり直すと見えてくるものがあるかもしれません。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

これらの質問項目では、ただエピソードを語るだけでなく、その話から読みとれる強味—それも、その企業・職種で活かせる強味—を語ってみてください。それまでの学生生活であったエピソードを、質問に合わせる形で表現してみてください。また、書いた履歴書やESは、他人に添削してもらってください。大学の就職課やハローワークでお願いができるはずです。その他、自他ともに、納得のいく出来になっても、数週間ごとに見直したり、応募する企業に合わせて変化させてみたりするのもいいと思います。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

面接対策のキモは、数をこなすことです。企業の面接に進むには、時間がかかるので、大学の就職課やハローワークで受けられる模擬面接で、本番のように臨み、自分の良い点、悪い点を職員の方のアドバイスを参考に洗い出していくといいと思います。要は、慣れです。面接の受け答えは、その企業・業界・職種をどれだけ調べているかが重要だと思います。また、自己PRなどは、履歴書、ESの転用、改変で問題ないと思います。グループディスカッションについては、役割は気にせず、意見を述べてください。だんまりは1番やってはいけません。活発で建設的な意見が必要です。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

1年留年しているので、不真面目だった時期を悔いています。ですが、その失敗があったから、2回目は就職したい企業から内定をいただきました。失敗したり、学業・アルバイトなどとの両立が難しいでしょうが、真剣にとり組んでください。自分のやりたい仕事を見つけて、そのために努力をしてください。そのお手伝いを、大学の就職課や先輩、ハローワークでしてもらえます。他人を頼りましょう。ハローワークでは、添削や模擬面接で、大変お世話になりました。有意義な時間、アドバイスをいただきました。それと、日頃からの読書がオススメです。

CASE 12 Kさんの場合

内定の秘訣をひと言コメントで！

《諦めずに粘り強く取り組むこと》

◆ 本人データ

Kさん (男性・女性)

国際学部 国際学科

Kさんの就活ストーリー

◆ 就活データ

・ エントリー数

約 50 社

・ 説明会参加数

約 20 社

・ WEB、適性検査・

エントリーシート・履歴書提出

約 30 社

・ 選考に進んだ会社

約 25 社

・ OB、OG訪問人数

約 0 人

・ 内定先(業界又は業種・職種)

商社・一般事務職

3年生

8月

◇ 就職活動を意識し始めた時期
(どんなことがきっかけでしたか)

夏休みに大学を通してインターンシップに参加したことで、就活を本格的に意識するようになりました。

12月

◇ 就職サイトの登録など活動に向けて動き出した時期 (ご苦労やご不安をお書きください)

就活サイトがオープンした12月から就活を始めました。最初は何をして良いのか分からず、漠然とした不安がありました。しかし、「とにかくやってみよう」と思い、いろんな企業にエントリーしました。

2月

◇ 選考が始まった時期
(後輩へのアドバイスをご記入ください)

面接は慣れも大きいと思うので、回数をこなして慣れておくことが重要だと感じました。

4年生

2月

◇ 就職活動が終わった、又は内定が出た時期
(その時の思いをご自由にお書きください)

私が就活を終えたのは、一般的に見てかなり遅めですが、諦めずに就活を続けた結果、自分が行きたいと思える会社に内定を頂くことができました。本当に嬉しかったですし、これまで頑張ってきて良かったと思えました。たとえ時間がかかったとしても、粘り強く続けることが大事だと感じました。

相談担当者コメント

Kさんは6月から新卒応援ハローワークを利用され、私との最初の相談は9月でした。真面目な性格からか結果の出ない就活に焦りが伝わってきました。Kさんは定期的に来所され、我々の助言に耳を傾けられました。冷静になる意味でも一度立ち止まり、原点に立ち返るよう伝えました。何故、その職種なのか？何故、その事業所なのか。自己分析と企業研究の大切さを説明し、個別相談の利用を勧め、書類添削・面接練習を積極的に利用され、Kさんの努力の甲斐あって、2月に2社内定ができました。商社の事務職を選ばれ、希望する企業に決まったのです。苦しい就活でしたが、人生には必ずプラスとなります。Kさんの前向きな姿勢、謙虚さは社会人になっても持ち続けて頂きたいと思います。

◆ ハローワークで利用したメニュー（該当するメニューに○をつけてください。）

1. 就活ゼミ

2. 面接（個別）

3. 添削（個別）

◇ 企業選択・説明会へのアドバイス（悩みや失敗談も！）

就活を通して、選択肢の幅を狭めず、可能性のある企業に応募することが大切だと身にしみて感じました。説明会では、実際にその会社の雰囲気を見ることができるので、そこで自分が働いている姿を想像できるかどうか、意識してみるのも良いと思います。

◇ 履歴書、エントリーシートへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

履歴書の志望動機欄は、「なぜその会社じゃないといけないのか」をしっかりと書くことがポイントだと思います。そうすることで、すっきりした志望動機が仕上がると思います。また、書き終わった履歴書を、できれば複数の人に見てもらおうと良いと思います。私はハローワークで履歴書の添削をしてもらい、自信を持って企業に提出することができるようになりました。

◇ 個人面接、集団面接、グループディスカッションへのアドバイス（悩みや失敗談も！）

面接での自分の問題点を自分で認識するのは難しいので、誰かに見てもらい、客観的な意見をもらうことをおすすめします。私は面接が苦手だったのですが、ハローワークで面接練習を受け、仕草や振る舞いなど細かいところまで指導してもらって以来、本番でも緊張せず話せるようになりました。実際に面接を何回か受けてみて、そういったところまでよく見られていると感じたので、そういう点も含め、事前に誰かに見てもらって練習することが大切だと思います。

◇ 就職活動を振り返っての感想（新卒応援ハローワーク利用の感想をお願いします）

就活がなかなかうまく進まず、悩んでいた4年生の夏休みにハローワークを訪れました。担当職員の方に、親身になって相談を聞いていただき、「もっと早くハローワークに来ていればよかった」と思いました。私が最後まで諦めず就活を続けることができたのは、ハローワークの方々のお陰です。本当にありがとうございました。

広島新卒応援ハローワークのご案内

新卒と 既卒3
年以内の方が
利用できる

新卒求人受理・
公開 *既卒の受入れ可能
な新卒求人(4月~3月)

新卒・既卒
者限定の
面接会

広島新卒応援ハローワークは、大学院・大学・短大・高専・専修学校などの学生の方、及び卒業後3年以内の方の就職を支援する為、厚生労働省が設置した専門のハローワークです。

支 援 メ ニ ュ ー

- ◇ ハローワークが受理した全国各地の学生求人(仕事情報・企業情報)の検索
- ◇ 担当者制による支援
- ◇ 予約制による個別トレーニング 来所又は電話082-224-1120にて要予約
履歴書・志望動機、自己PR、職務経歴書・エントリーシート等の応募書類添削指導
面接トレーニング(模擬面接を行いますので、応募先情報や履歴書等ご持参ください。)
- ◇ 各種就職支援セミナーの実施
就活ゼミ(書類対策編・面接対策編)・グループディスカッションセミナー・業界セミナー
- ◇ 就職面接会の開催
- ◇ 大卒等就職情報WEB提供サービスでクラブ会員登録された方には就活の情報を発信

企業のニーズをふまえた
書類・面接選考対策
少人数の就活ゼミで自分
のPRを実際に作成!!

〒730-0013 広島市中区八丁堀16-14 第二広電ビル5階

TEL (082)224-1120 FAX (082)225-0381

URL <http://hiroshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp> から入り、

広島新卒応援ハローワークのバナーをクリック

ご利用時間 月~金 8:30~17:15(土・日・祝日及び年末年始は除く)

